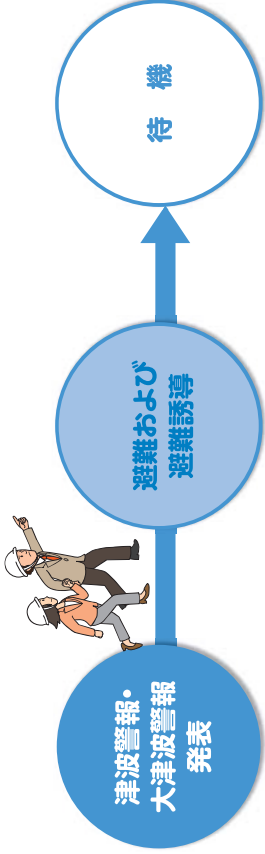


# 4. 津波対策

海岸付近の事業者は、地震の揺れを感じた場合、揺れの大きさにかかわらず、速やかに津波情報を収集し、冷静に状況を判断しましょう。避難が必要と判断した際は、従業員や施設利用者等の安全を確保するため、慌てず、速やかに高台等への避難誘導を実施しましょう。

※事業所が新耐震基準を満たした建物である場合には、建物の3階以上に避難してください。  
 ※テナントビル等複数の事業所が1つの建物に入っている場合には、あらかじめ3階以上にある事業所と調整し、協力し合って津波避難対策を考えておきましょう。



## 冷静に情報収集

気象庁は、津波のおそれがある場合、地震が発生してから約3分後を目標に、対象となる津波予報区に津波警報または津波注意報を発表します。

## 直ちに避難

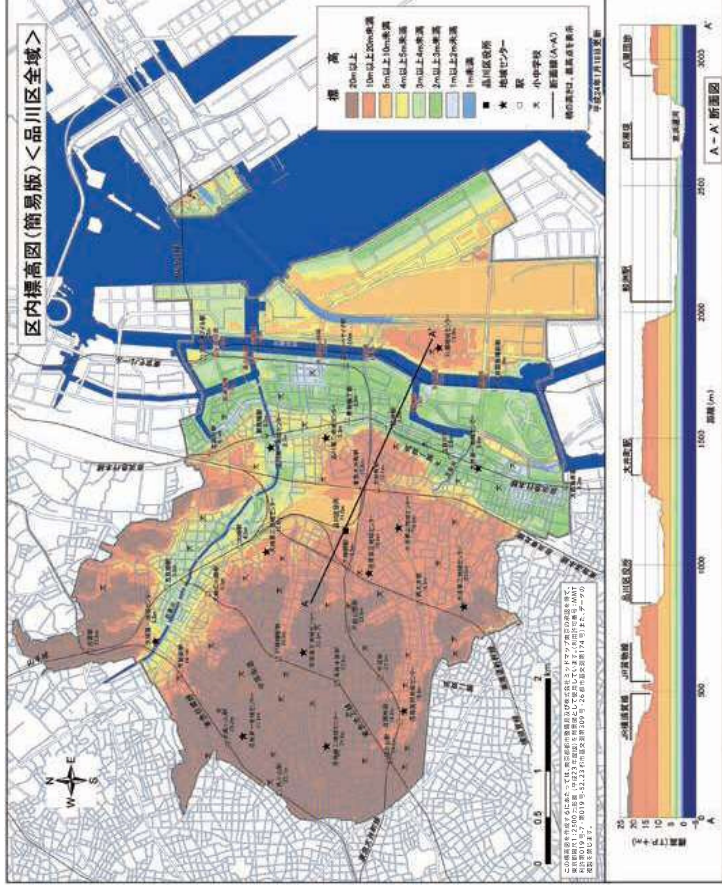
事業者は、避難が必要と判断した場合、あらかじめ定めた高台等の津波避難場所に、従業員や施設利用者を適切に避難誘導します。

## 避難後の対応

津波は繰り返し押し寄せてくるため、警報等が解除されるまで待機し、海や川には絶対に近づかないようにしましょう。

## 区内標高図

事前に確認しておいた高台へ避難しましょう。



### 地震の揺れと津波の関係

地震発生時の体を感じる揺れの大きさによって、津波の高さを判断することはありません。比較的弱い地震であっても、長い時間、ゆっくりとした揺れを感じた場合は、急いで海岸から離れ、高台等に避難する必要があります。

東日本大震災では、福島県いわき市小名浜において、震度4以上の揺れが190秒間続き、津波の高さは最大3.33mを記録しました。この津波により、いわき市では約1,050棟の建物が流失しました。

### 東京湾と津波の関係

東京湾は、入口の狭さに比べて湾内側が広く、水深も浅いことから、地形上大きな津波は発生しにくいと言われています。しかしながら、東日本大震災の教訓を踏まえ、あらゆる可能性を考慮して、対応する必要があります。



予想や観測で発表される「津波の高さ」は、どこの高さのこと？



「津波の高さ」は、津波がない場合の海面からの高さです。津波が陸上を駆け上がつた高さは、「津波の高さ」の何倍にも達することがあります。

数値での発表 (発表基準)	予想される津波の高さ		とるべき行動
	巨大地震の場合の表現	高さ	
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や高い建物など安全な場所へ避難しましょう。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないようにしましょう。
津波警報	10m (5m<高さ≤10m) 5m (3m<高さ≤5m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い所を目指しましょう！
津波注意報	3m (1m<高さ≤3m) 1m (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、直ちに海から上がった海岸に離れましょう。津波注意報が解除されるまで海に入ったたり、海岸に近づいたりしてはいけません。

想定される津波の高さは…

## 参考 I 6. 津波対策…P.21